

大麦栽培特報 第5号

平成 29 年 4 月 14 日
いなば農業技術者協議会
○事務局【JAいなば営農生産課】
小矢部市赤倉97 TEL67-8000
【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
○高岡農林振興センター 26-8480

1. 赤かび病の防除について

生育は平年と比べて3日程度早くなっていますので、適期防除に努めましょう。

予想される 1 回目防除時期 (穂揃期＝開花始め)

4月 21日頃

2 回目防除時期 (1 回目の 1 週間後)

4月 28日頃

※穂揃期と、その1週間後に2回目防除を確実に行いましょう。

各防除時期の使用薬剤と10a当たりの散布量

	液剤	粉剤
1 回目	トップジンM水和剤 150g + 水 150ℓ	トップジンM粉剤DL 4kg
2 回目	シルバキュアフロアブル 75mℓ + 水 150ℓ	ワークアップ粉剤DL 3kg

○液剤による防除の場合、防除の後、1時間程度(液剤が乾く時間)雨が降らなければ、一定の効果が得られますので、雨天日でも短い晴れ間を利用して、適期の防除に努めましょう。

○農薬散布にあたっては、事前に散布エリアへの周知を図るとともに、他作物へ飛散(ドリフト)しないよう、風の弱い時間帯の散布に努めましょう。

2. 出穂後の登熟条件を良好にするため、圃場内排水に努めましょう。

3. カラスノエンドウの発生を見たら速やかに抜き取りましょう。

殿

出穂期予想	1 回目防除	2 回目防除

<営農指導員からのコメント>